

分野	専門分野	科目名	母性看護学方法論
時間	30時間	開講時期	2年次（前期）
講師名	専任教員		
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不妊治療を受ける女性の心理・社会的特徴を理解し、不妊治療の看護への理解できる。 2. 妊婦の心理的特徴、妊婦・家族の新しい役割獲得に関する課題について理解できる。 3. 妊婦と胎児の健康の保持・増進のための、妊婦のセルフケア能力を高める援助について、保健相談、および出産・育児への準備について理解できる。 4. 分娩の経過に伴う身体的変化および心理・社会的変化を理解し、援助の実際を理解できる。 5. 褥婦の身体的変化の理解、産褥経過の診断、褥婦の健康状態、および褥婦・家族の心理的・社会的変化を理解できる。 6. 褥婦のセルフケア不足や身体的変化に伴うニーズへの援助、育児技術の指導、子どもを迎えた家族関係の再構成への看護のかかわりなど、産褥早期の看護、および退院後の褥婦の支援について理解できる。 7. ハイリスク妊娠の看護について理解できる。 8. 新生児のアセスメントと看護について理解できる。 		
講義形態	①講義・演習		
講義内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1. リプロダクティブヘルスケアの必要性 2. 出生前診断を受ける人への看護・遺伝カウンセリング 3. 不妊治療を受けている女性の心理・社会的特徴 4. 不妊夫婦の看護 5. 不妊治療によって妊娠した女性・家族の看護 6. 不妊治療の終結に関わる看護 7. 妊婦の心理 8. 妊娠期の心理と社会的特性 9. 妊婦と家族の看護 10. 産婦の心理・社会的変化 11. 産婦・胎児、家族のアセスメント 12. 産婦と家族の看護 13. 分娩期の看護の実際 14. 新生児の健康状態のアセスメント 15. 新生児の看護 16. 産褥期の心理・社会的変化 17. 褥婦の健康状態のアセスメント 18. 褥婦と家族の看護 19. 施設退院後の看護 20. ハイリスク妊婦の看護 21. 異常のある産婦の看護 22. 異常分娩時の産婦の看護 23. 分娩時異常出血のある産婦の看護 24. 異常のある褥婦の看護 25. 育児に困難さをかかえる母親への看護 26. 児を亡くした褥婦・家族の看護 27. メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援 			
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2]母性看護学各論			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			